

ニューノーマル処方箋(第36回)

非正規労働者の正社員化をサポートする助成金が拡充

2024.02.27



<目次>

- ・非正規労働者の正社員化をサポートする助成金が拡充
- ・中小企業の非正規→正社員化の助成金が57→80万円に
- ・正社員化の転換制度の充実で、さらなる加算も!

非正規労働者の正社員化をサポートする助成金が拡充

厚生労働省や都道府県労働局では現在、中小企業・大企業を対象に、「キャリアアップ助成金」の募集を行っています。

キャリアアップ助成金とは、有期雇用労働者、短時間労働者、派遣労働者など、いわゆる非正規雇用労働者の企業内にお けるキャリアアップを促進する助成金です。非正規雇用労働者の正社員化、処遇改善を実施した事業主に対し、助成金が 支給されます。

このキャリアアップ助成金が、2023年11月29日から内容が拡充されました。同助成金のうち、有期雇用労働者を正規雇用 労働者に転換した場合に助成金が支給される「正社員化コース」にて、現行よりも支給額が増額され、要件も緩和されるな ど、従来よりも利用しやすく変更されています。

中小企業の非正規→正社員化の助成金が57→80万円に

具体的な変更点は、【1】助成金の見直し、【2】対象となる有期雇用労働者の要件緩和、【3】正社員転換制度の規定に関す る加算措置、【4】多様な正社員制度規定に関する加算措置の4点となります。

まず【1】の「助成金の見直し」については、従来は従業員を有期→正社員に転換し、1期(6カ月)が経過した場合、中小企 業では1人当たり57万円、大企業では42.75万円の助成金が、企業に対し支給されるというものでした。

新ルールでは、期間が2期(12カ月)に変更されるとともに、助成金の金額も中小企業は80万円、大企業は60万円に増額さ れました。無期雇用労働者を正社員に雇用した場合も、中小企業は従来の28万5000円から40万円、大企業は21万3750円 から30万円に増額されます。

【2】の「対象となる有期雇用労働者の要件緩和」については、従来は有期雇用労働者の雇用期間が「6カ月以上、3年以内 」の場合にのみが対象でしたが、変更後は「6カ月以上」と、雇用期間の上限が撤廃されました。 つまり、比較的長い間勤務 している有期雇用労働者も、キャリアアップ助成金の対象となります。

1/2

ただし、雇用期間が通算で5年を超えた有期雇用労働者の場合は、助成額は【1】の無期→正社員と同額となります。





正社員化の転換制度の充実で、さらなる加算も! … 続きを読む

2/2